

大牟田市立銀水小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、地域の教育力を効果的に活用し、学習活動として学年の実態に応じた単元構成の工夫しながら、環境・エネルギー、地域遺産・世界遺産、人権・福祉の学習などを重視した取組を行っている。特に、低学年においては、児童の興味関心を大切に、楽しく遊びながら、身近な自然環境に関わっていくようにしている。3年生以降から人権・福祉教育として障がいのある方との交流等を通して、みんなが安心して住み続けられるまちづくりについて考えることができるようにしている。また、4年生では地域の宝を調べ、地域のために自分たちにできることを考えて行動し続けることができるようにしている。5年生においては、地域にある自然環境に目を向け、自分の生活と関連付けて考えながら、学習したことを発信することができるようにしている。

このように、地域と直接関わる体験を重視し、その特色を生かしながら地域に対する感性を養うとともに、郷土の文化や生活に親しみ、郷土を大切にしようとする態度を育てるようにしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

【環境・エネルギー】

1年生「いきものとなかよし」	(SDGs 1 4)	10時間
2年生「レッツゴー！町たんけん」	(SDGs 1 5)	12時間
4年生「取り組もう、ごみ減量生活」	(SDGs 1 5)	12時間
5年生「受けつごう、自然」	(SDGs 1 4)	18時間

【地域・世界遺産】

1年生「がっこうにくるみちかえるみち」	(SDGs 1 1)	6時間
4年生「銀水花いっぱい絆プロジェクト」	(SDGs 1 1)	37時間
「知ろう、日本のよいところ」	(SDGs 1 1)	8時間
5年生「受けつごう、銀水太鼓」	(SDGs 1 1)	22時間

【人権・福祉】

3年生「心をつなごう、銀水っ子」	(SDGs 3)	37時間
6年生「平和な社会をめざして」	(SDGs 1 6)	20時間
「ふみだそう世界へ」	(SDGs 1 6)	23時間



3 特徴的な活動事例

＜地域学習（4年生総合的な学習の時間 単元「銀水花いっぱい絆プロジェクト」）＞

(1) 目標

○銀水校区の宝や学校生活と地域とのつながりについて調べることを通して、郷土を愛する心情と感謝の気持ちを持ち、そのよさを伝えるための活動について考え、工夫して実行することができる。

(2) 実践の展開

①校区の宝や地域とのつながりについて話し合い、学習計画を立てる。(3時間)



- 校区の宝について知っていることを出し合う。
- 家族、5年生、地域の人にインタビューしたことを出し合い、学習課題を設定する。
- 学習計画を立て、花の種を植える。

②校区の宝について調べる。(14時間)

- 校区の宝について調べる。
- 地域で活躍されているGTの思いや願いについて調べる。
- 各自で調べたことをまとめ、学級で話し合う。
- 校区のよさを広げるための方法を話し合い、地域の方や保護者に発表する。

③地域の方や家族に感謝の気持ちを伝えよう。(13時間)

- 地域や家族に感謝の気持ちを伝える方法について話し合う。
- プレゼントをする場所や相手を決め、花を育てる。
- 花の贈呈式を準備し、花の贈呈式を行う。

④「銀水花いっぱい絆プロジェクト」をまとめよう。(7時間)

- 「銀水花いっぱい絆プロジェクト」の活動を他学年に効果的に伝える方法を考え、準備をする。
- 新聞などを掲示したり、他学年に発表したりして、単元のまとめをする。
- 種取りをして、次年度の4年生へのプレゼントの準備をする。



(3) 子どもたちの様子

「②校区の宝について調べよう」の段階では、校区にある人、もの、ことに着目し、自分たちのために活動して下さっているたくさんの人たちの存在に気づき、自分たちにできることを考えていきたいという課題を明確にして考えることができた。その中で、地域の人たちが喜ぶように、地域を花でいっぱいにしていきたいという思いをもたせるようにし、学習を進めていった。

子どもたちは、「ぼくは、地域の人たちが知らないところで活躍して下さっていることがわかった。地域の人たちが喜ぶようなプレゼントをして、銀水校区が笑顔と挨拶でいっぱいになるようにしていきたい」と地域とのつながりを深めていた。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・銀水校区とのつながりを意識し、自分たちにできることを考えていこうという思いをもつ子どもの姿が見られた。
- ・コロナ禍においても、地域の方々とのつながりを大切に、「コロナ禍だからできること」と視点を変えて継続・発展することができた。

○課題

- ・問題を見出していくときには、自分事の課題としてとらえることができるように、教師から与えられた課題ではなく、地域にある宝を守りたいという思いを大切にしながら進めていけるように単元計画を明確にしていく必要がある。